

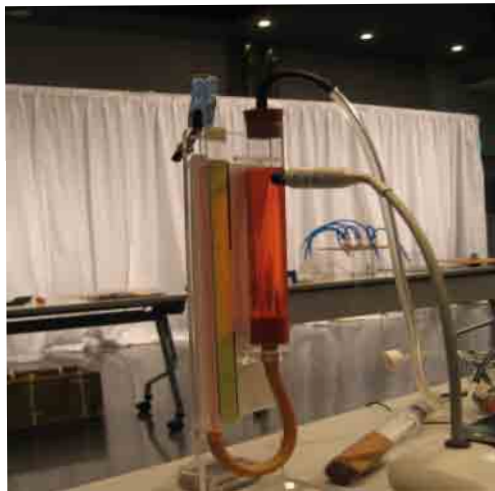


4月に NHK教育TV「サイエンス・ゼロ」で、静岡科学館る・く・るが、日本の最新科学館事情紹介の中で、ハンズ・オン（体験型）科学館の代表として紹介されました。
皆さん、ご覧いただいたでしょうか。日本には、自然科学系博物館・科学館が、515館あるのだそうです。
その中で地方都市にあって、開館以来年間約250,000人の来館者を4年間キープしている科学館は、大変珍しいのです。
また、リピーターの多い科学館としても、専門家の中で認められています。
私達は、科学教育にかかわる先生方に、意味ある「る・く・る」の教育情報をお届けすることにしました。



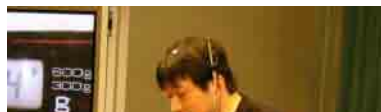
「ビッグサイエンスショー」が

5月24、25日の二日間、午前午後4回公演されました。
全国のアマチュア・サイエンス・インタープリターの最高峰の一人である海老崎功（えびさき いさお）氏を京都から招きました。
海老崎氏は、中学理科教師で京都青少年科学センターの物理研究室長職に在ります。



タイトルは、

「エアージョーダン！？ 冗談みたいな空気の実験！」



静岡の科学教育にかかわる先生方に、静岡科学館る・く・るの素晴らしさを届けたい！



Teachers's News

2008. 6. 10 (時の記念日)
No. 1

静岡科学館る・く・る
TEL 054-284-9980
FAX 054-284-9988
E-mail rukuru@earth.ocn.no.jp



4月に NHK教育TV「サイエンス・ゼロ」で、静岡科学館る・く・るが、日本の最新科学館事情紹介の中で、ハンズ・オン（体験型）科学館の代表として紹介されました。皆さん、ご覧いただいたでしょうか。日本には、自然科学系博物館・科学館が、515館あるのだそうです。その中で地方都市にあって、開館以来年間約250,000人の来館者を4年間キープしている科学館は、大変珍しいのです。また、リピーターの多い科学館としても、専門家の間で認められています。私達は、科学教育にかかわる先生方に、意味ある「る・く・る」の教育情報をお届けすることにしました。

「ビッグサイエンスショー」が

5月24、25日の二日間、午前午後4回公演されました。全国のアマチュア・サイエンス・インタープリターの最高峰の一人である海老崎功（えびさき いさお）氏を京都から招きました。海老崎氏は、中学理科教師で京都青少年科学センターの物理研究室長職に在ります。



タイトルは、

「エアージュordan! ? 冗談みたいな空気の実験」

上の写真は子ども達8人の空気を吸う力で、ボーリングの球（16ポンド）を吸い上げる場面です。左の装置は、発明協会賞を受賞した僅かな大気圧をキャッチする実験装置ですが、上の装置も全て海老崎氏の自作実験装置なのです。1時間余りのサイエンスショーの中で、大気圧を理解するために使用した実験は、約20種類にも及びます。サイエンス・ストーリーのあるショーは、さすが中学校の教師です。問題解決的です。ぜひ、先生方にご覧いただきたいサイエンス・インタープリテーションです。科学館通信「ふるむる・く・る」には、「サイエンスショー」「わくわく科学工作」や「テーブルサイエンス」などの紹介をしていますので、是非足を運んでください。静岡科学館る・く・るは、科学教育の具体的な教材の宝庫でもあるのです。エドゥケーター（指導主事）やコミュニケーターに、是非声をかけてください。

子ども達に分かりやすく、科学を伝えるために、先生は自作装置や教材を創っていますか？

